

# 難攻不落の世界最小のカメムシに挑む！ 日本産ムクゲカメムシ類の分類研究



自然・環境評価研究部 系統分類研究グループ

山田量崇

## ■ムクゲカメムシとは？（図1）

体長0.5～3.0 mmの世界最小級のカメムシの仲間、世界に約430種、日本に9種が知られます。落ち葉の間、倒木の樹皮の下、洞窟内、河原の石の下などに生息します。

## ■なぜ難攻不落？

微小で地味で目立たないため、採集例が少なく、博物館にも標本がほとんどありません。また、オスの交尾器が複雑で形態の解釈が難しいため、どの研究者も思うように分類研究を進められないでいました。

## ■カメムシ学者を悩ませた3次元構造のオス交尾器（図2）

昆虫のオスの交尾器は、通常、腹部の末端に集約されていますが、この仲間では、腹部の大半が交尾器とその付属物からなる3次元的な構造となるため、各パーツの形や機能を理解するのが困難でした。

## ■誰も手を付けなかった分類に挑む

日本では50年以上研究が進んでいませんでしたが、調べていくと、実は、驚くほど多数の未記載種（新種）が存在することがわかってきました。今はたったの9種しか知られていませんが、将来的には40～50種に及ぶだろうと推測されます。



図1. 日本産のムクゲカメムシ類. すべて未記載種(学名が決定されていない新種). 白線は約1ミリのスケール.

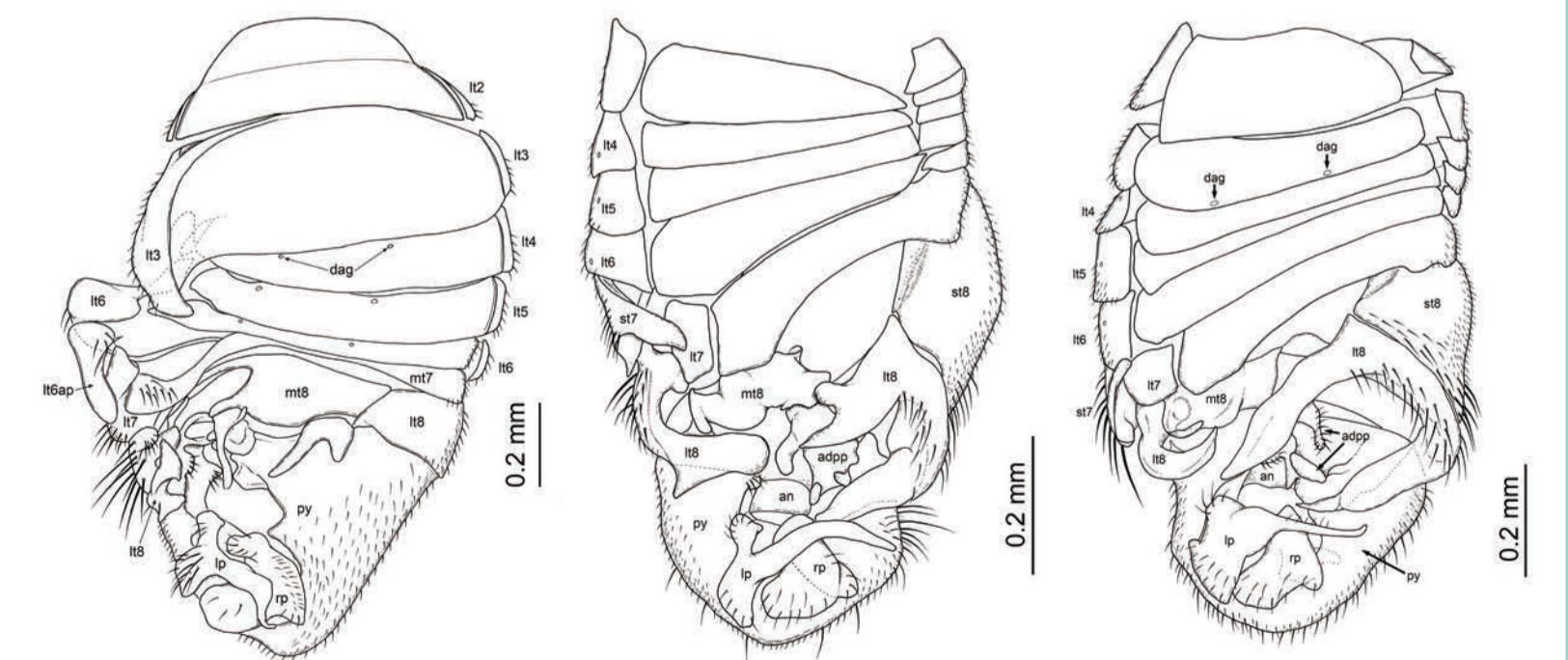


図2. オスの腹部. さまざまなパーツからなる複雑な構造をしています。種によっては、腹部全体が交尾器とその付属物で構成されることがあります。